

浮世絵と巡る東海道

- 1 金沢横丁道標四基
- ↓
- 2 旧保土ヶ谷本陣跡
- ↓
- 3 旅籠本金子屋跡
- ↓
- 4 復元した一里塚と松並木・上方見附モニュメント
- ↓
- 5 元町のまちなみ
- ↓
- 6 旧権太坂
- ↓
- 7 境木武相国境

丘の洋館・カトリック教会を巡る

- 17 杉浦邸
- ↓
- 18 井澤邸
- ↓
- 19 保土ヶ谷カトリック教会
- ↓
- 20 入澤邸
- ↓
- 21 小菅邸
- ↓
- 22 齋藤邸
- ↓
- 「横浜の洋館付き住宅」の展示USC
- ↓
- 23 三輪邸
- ↓
- 24 中島邸（旧喜久の家族館）

近代の発展を支えた帷子川沿いの工場跡地・商店街を巡る

- 8 東洋電機製造跡、日本金属工業跡
- ↓
- 9 旧帷子橋跡
- ↓
- 10 橋樹神社
- ↓
- 11 天王町商店街
- ↓
- 12 富士瓦斯紡績工場跡
- ↓
- 13 水道道跡
- ↓
- 14 程谷曹達（保土谷化学）
- ↓
- 15 大日本麦酒（日本硝子）跡
- ↓
- 16 古河電池跡

コース周辺の見どころ

- 1 江戸方見附跡…江戸方見附は、各宿場の江戸側の出入口に設置されていたものです。土盛をした土塁の上に竹木で矢来を組み込んだ構造をしていて、宿場の範囲を視覚的に示していました。
- 2 橋樹神社…文治2（1186）年創建と伝えられる。大正10（1921）年に橋樹神社と改称。第二次世界大戦後、隣接していた神明社を境内社としました。
- 3 旧古町橋跡…江戸時代初期の東海道は、この場所に帷子川を渡る「古町橋」がありました。帷子川の河川改修により、昭和41年に約120m北に架設されています。
- 4 ステンレス鋼発祥の地…昭和7年に創立された日本金属工業株式会社によって、日本で初めてステンレス鋼の製造に成功したことを記念する碑があります。

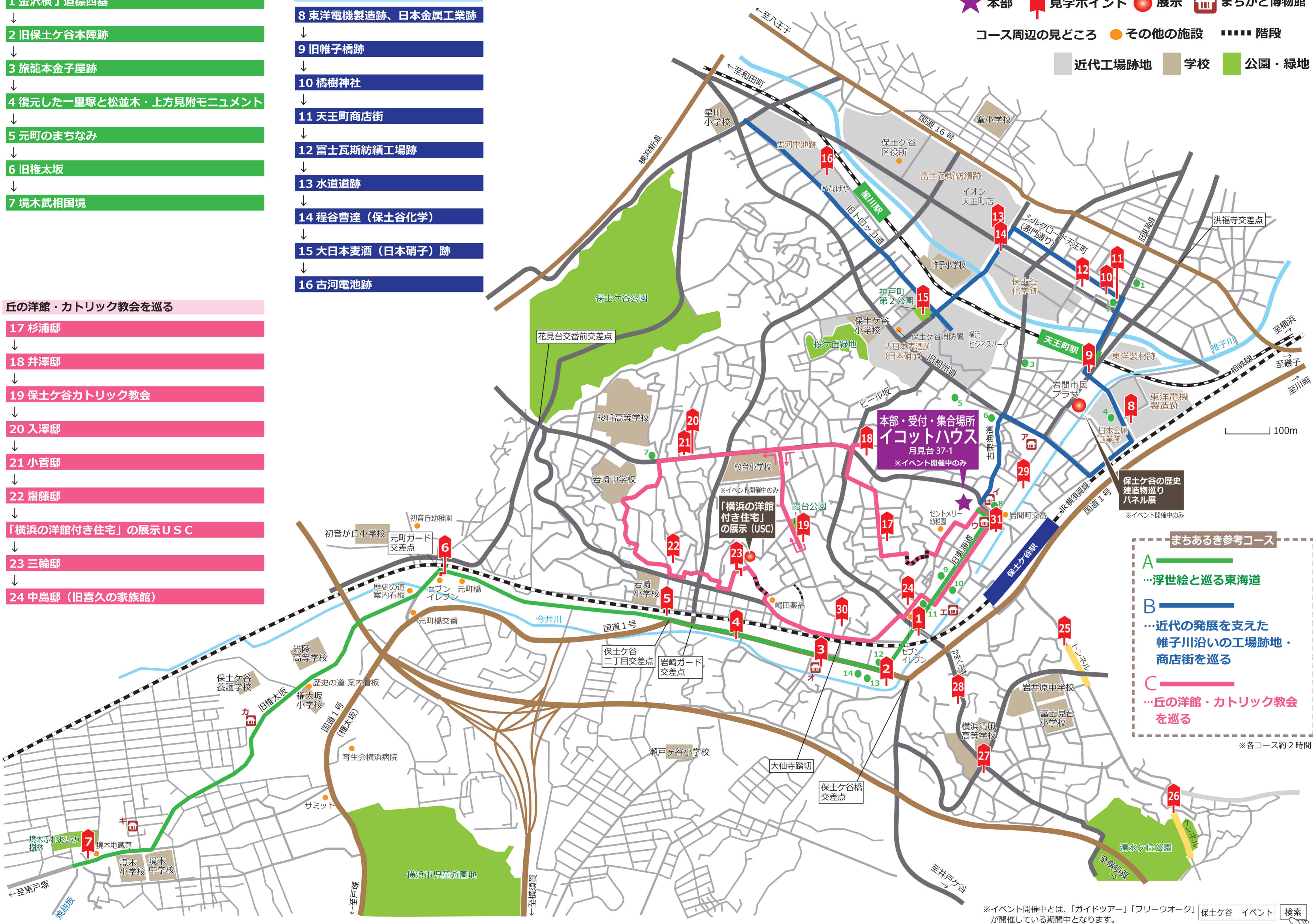
- 5 神明社…創建は平安時代中期(970年)。当地は伊勢神宮の御領地として寄進され橋谷御厨と呼ばれ、その鎮守として神明社が建立されました。祭神は天照大御神。
- 6・7 耕地整理竣工記念碑…帷子川流域一帯では耕地整理事業が明治36年から順次始まり、大正7年(●6)と昭和16年(●7)に記念碑が建てられました。
- 8 旧中橋跡…慶安元年(1648年)の東海道のルート変更に伴い今井川も川筋が変えられ、この付近に「中橋」が架けられました。江戸時代の終わりに現在の今井川に流れが変えられ、橋はなくなりました。
- 9 助郷会所跡…宿場で働けない人馬を周囲の村から動員する「助郷」という制度があり、その詰所です。

- 10 問屋場跡…公用旅行者の荷物の運搬(馬継足)や飛脚の業務を取り扱うところです。
- 11 高札場跡…幕府の掟やお触れを貼り出す所で、宿泊代や人馬代も示されていました。
- 12 認本陣(大金子屋)跡…本陣の補助とされた公用の宿泊所です。14室101畳の部屋があり、伊能忠敬測量隊も宿泊しました。
- 13 認本陣(藤屋)跡…本陣の補助とされた公用の宿泊所です。14室110畳の部屋がありました。
- 14 認本陣(水屋)跡…本陣の補助とされた公用の宿泊所です。14室97畳の部屋がありました。

★ 本部
 📍 見学ポイント
 ● 展示
 🏠 まちかど博物館

— コース周辺の見どころ
 ● その他の施設
 ⋯⋯ 階段

■ 近代工場跡地
 ■ 学校
 ■ 公園・緑地



まちあるき参考コース

A …浮世絵と巡る東海道

B …近代の発展を支えた帷子川沿いの工場跡地・商店街を巡る

C …丘の洋館・カトリック教会を巡る

※各コース約2時間

いぬまを巡る 効果的！

5分以内の散歩
 10分以内の散歩
 15分以内の散歩
 20分以内の散歩
 25分以内の散歩
 30分以内の散歩

散歩の時間
 散歩の距離
 散歩のペース

散歩の時間
 散歩の距離
 散歩のペース

散歩の時間
 散歩の距離
 散歩のペース

まちかど博物館めぐりをしませんか

まちかど博物館は、旧東海道沿いに昔からお店をかまえる店舗です。各博物館では、保土ヶ谷で積み重ねられてきた歴史・生活文化・なりわいのわざを物語るものを展示しています。館長さんのお話や、地域の人との出会いも、まちかど博物館めぐりの魅力のひとつです。※館長が不在または接客中の場合は対応できないことがあります。

ア. ひろた屋 (呉服店)

イ. 後藤印店 (活版印刷)

ウ. キタ薬局

エ. 桑名屋 (そば屋)

オ. 旅籠 本金子屋跡
※見学者のみの展示

カ. 餅立商店

キ. 菓匠 栗山

【まちかど博物館めぐりの約束】
 まちかど博物館は、各館長の同意により運営されています。マナーを守って見学してください。トイレはお貸しすることができません。

保土ヶ谷 オープンヘリテイジ

歴史まちあるき



保土ヶ谷の歴史建造物公開ウォーキング

浮世絵と巡る東海道

保土ヶ谷宿は、慶長6年(1601年)東海道に宿駅の制度が定められた際、幕府公認の宿場として誕生した。

1 金沢横丁道標四基



天明3(1783)年、天和2(1682)年、文化11(1814)年、弘化2(1845)年。市登録地域有形民俗文化財 [平成元(1989)年12月]

2 旧保土ヶ谷本陣跡(軽部家)

主屋:大正14(1925)年建築/木造平屋建/洋館付き住宅



3 旅館(はたご) 本金子屋跡(金子家)



保土ヶ谷宿の旅館として残る建物。本金子屋は保土ヶ谷宿の平旅館として明治18年まで営業していたが、明治20年の国鉄東海道線の開通に伴い、宿場の機能が徐々に失われてゆき廃業したと伝えられる。

4 復元した一里塚と松並木・上方見附モニュメント

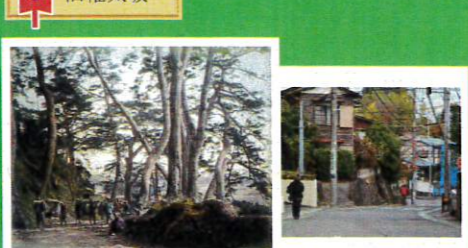


平成17年12月、横浜市の事業である第1回「ヨコハマ市民まちづくり」に選ばれ、平成19年2月、市民の手で一里塚と松並木が復元された。

5 元町の街なみ



6 旧権太坂



旧東海道の道のりは、日本橋から保土ヶ谷宿までは平坦であったが、元町から堀川までの急坂は旅人にとって最初の難所であった。

7 境木武相国境

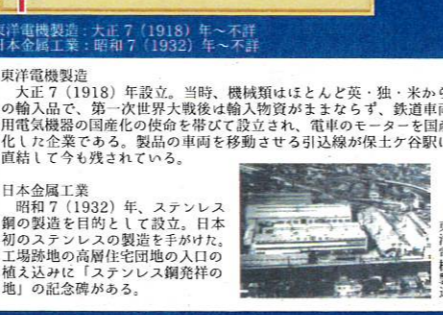


武蔵国と相模国の国境(武相国境)と旧東海道が交わる地にかつて道標があったとされることから「境木」の地名が名付けられたとされる。

近代の発展を支えた帷子川沿いの工場跡地・商店街を巡る

保土ヶ谷の工業の歴史は、現在の天王町に富士瓦斯紡績(絹糸製糸場)を創業したことに始まる。

8 東洋電機製造跡、日本金属工業跡

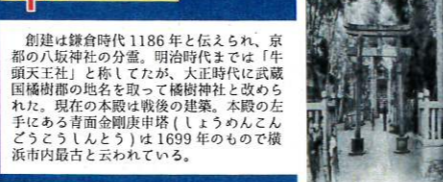


9 旧帷子橋跡



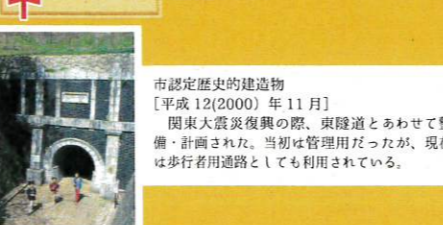
広重など保土ヶ谷宿を描く多くの浮世絵に描かれている帷子橋。昭和39年の帷子川の改修以前に架かっていた帷子橋が現在の天王町駅前公園にモニュメントとして復元されている。

10 橘樹神社



創建は鎌倉時代1186年と伝えられ、京都の八坂神社の分霊。明治時代までは「牛頭天王社」と称していたが、大正時代に武蔵国橘樹郡の地名を取って橘樹神社と改められた。

26 大原隧道



市認定歴史的建造物 [平成12(2000)年11月]。関東大震災復興の際、東隧道とあわせて整備・計画された。当初は管理用だったが、現在は歩行者用通路としても利用されている。

保土ヶ谷の近代水道・その他

■保土ヶ谷の近代水道(水道道)

横浜の発展のため明治16(1883)年にイギリス土木専門家のヘンリー・パーマーに設計を依頼し、新式の「創設水道」の工事に着手した。

25 東隧道

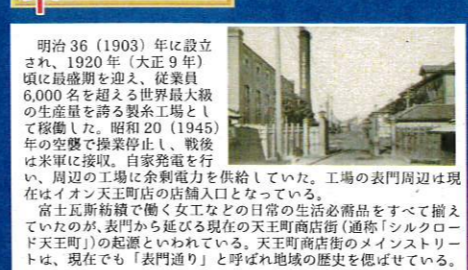


市認定歴史的建造物 [平成12(2000)年11月]。関東大震災復興の際、磯子、岡村、磯田、大岡方面の配水強化を図るために、保土ヶ谷町と南太田町を連絡する道路用トンネルと兼用で計画・整備された。

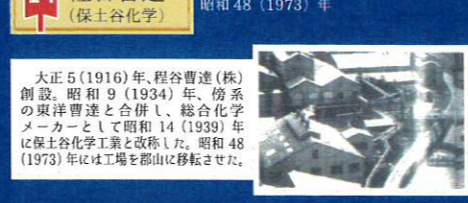
12 水道道跡



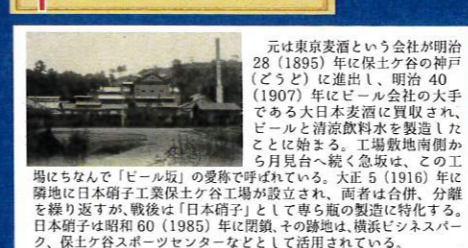
13 富士瓦斯紡績跡



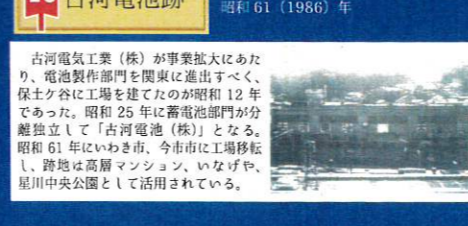
14 程谷曹達(保土ヶ谷化学)



15 大日本麦酒(日本硝子)跡



16 古河電池跡



丘の洋館・カトリック教会を巡る

1920年代(大正から昭和初期)、和風住宅の玄関口に小さな洋館(洋館)がついた建物が「洋館付き住宅」である。

17 杉浦邸



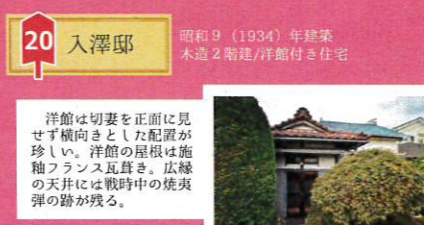
18 井澤邸



19 保土ヶ谷カトリック教会



20 入澤邸



21 小菅邸



22 齋藤邸



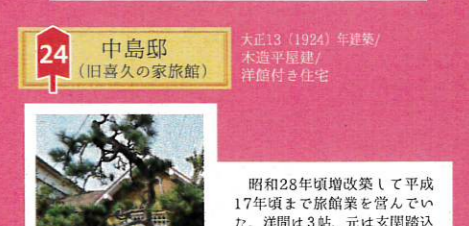
「横浜の洋館付き住宅」の展示 USC(イベント開催中のみ)

横浜に洋館付き住宅約100棟を今は失われた建物も含めて写真で紹介する。また、洋館付き住宅が生まれた歴史などの解説と、実際に使われている瓦や天然スレートなどの屋根材なども展示。

23 三輪邸

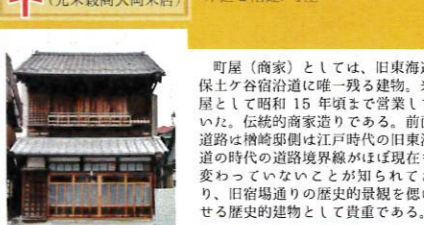


24 中島邸(旧喜久の家旅館)



昭和28年頃増築して平成17年頃まで旅館業を営んでいた。洋館は3帖、元は玄関踏込より直接入り、洋間の続き部屋とは段差が付いた土間を設けたユニークな洋館であった。

29 檜崎邸(元米穀商大岡米店)



30 大仙寺(本堂・山門)



31 帷子会館



当初は消防署の消防車を収納していた建物。現在は町内会館として利用されている。扉や窓は後に改修されたものだが、大正期の建物として旧東海道沿いに残る稀有な洋風建物である。歴史的建造物の良い保存活用例といえる。